確認日	年　月　日
確認者	

施工完了 チェックシート

1□から6□を チェック

◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください ◆

1□ クリップ・クリップキャップを正しく取り付けていますか

- クリップ・クリップキャップが確実に入っていますか。
- クリップが回りますか。
- ホースを引っ張っても抜けませんか。

2□ 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

3□ 水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

4□ 電源は入っていますか

- 電源ランプは点灯していますか。

5□ 温水タンクに水が入っていますか

- 設置完了後、本体のおしりスイッチを押すと、おしりノズルが出て、タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。

※ノズルの左から出る水は、圧力逃がし水であり、水漏れではありません。

6□ 着座スイッチは正常に働きますか

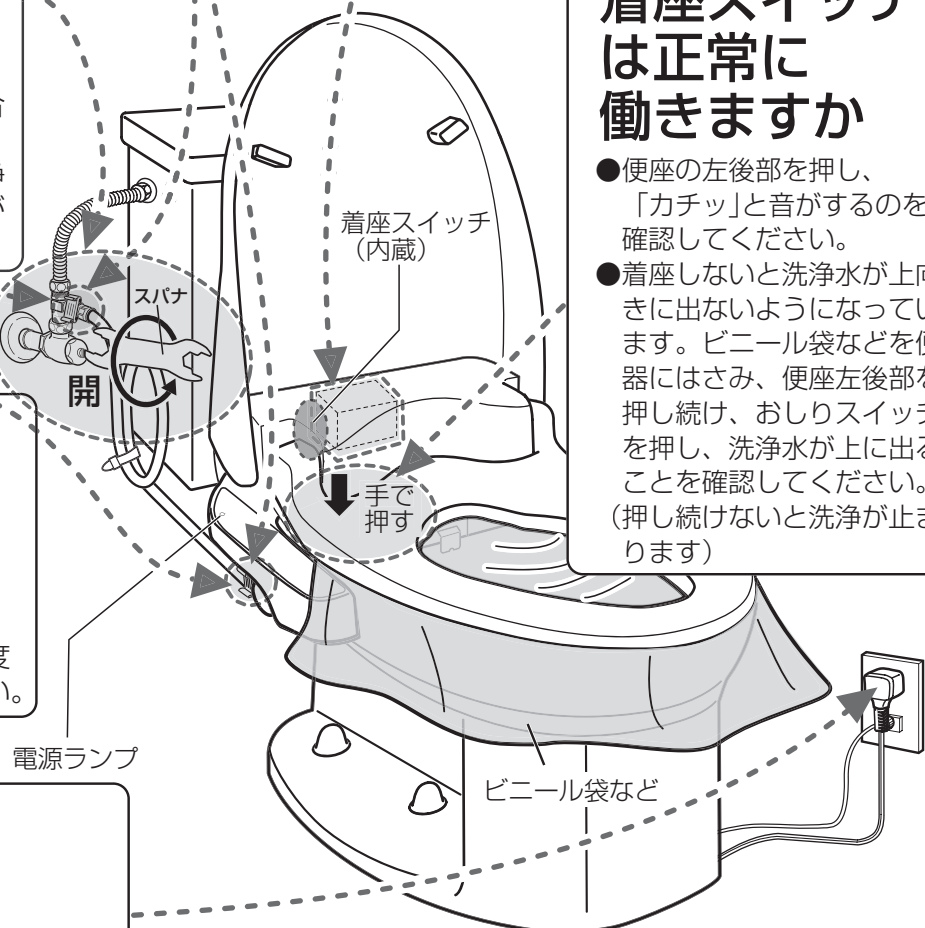
- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。
- 着座しないと洗浄水が上向きに出ないようになっています。ビニール袋などを便器にはさみ、便座左後部を押し続け、おしりスイッチを押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。（押し続けないと洗浄が止まります）

イラストは品番により異なる場合があります。

● 試運転は、必ず行ってください。

パナソニック株式会社　トワレ・ヒーティングビジネスユニット

〒639-1188　奈良県大和郡山市筒井町800番地

DL949A-PFCP2
CS0608-2049

Panasonic®

設置工事説明書

温水洗浄便座（家庭用）

品番　DL-MAシリーズ

安全な工事をするために、この設置工事説明書に基づいて設置してください。

工事終了後は、取扱説明書、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。

- イラストは、品番により異なる場合があります。

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

アース線接続

D種接地工事を行う
アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

設置工事は、設置工事説明書に従って確実に行う
説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する
指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

電気工事は､内線規程に従って施工する
内線規程に従わないと､火災､感電の原因となります。

コンセントのアース端子にアース線を取り付ける
アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

水場使用禁止

バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因となります。

上水道以外には接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因、または異物の混入などで配管がつまり、故障の原因となります。

⚠注意

水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う
条例に基づいて行わないと、水漏れの原因となります。

移動や設置時、本体を持つ
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。

設置の前に

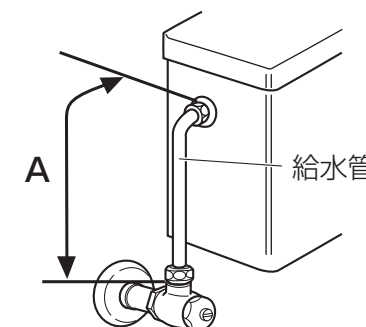
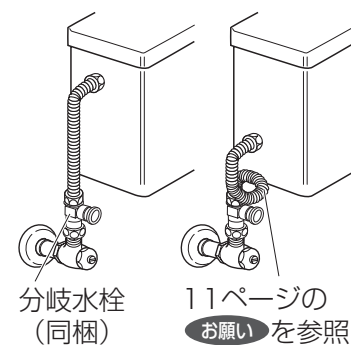
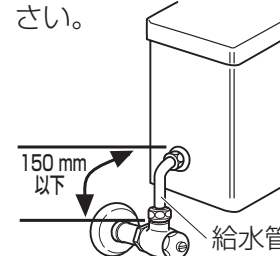
取付前のお願い

本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない
故障の原因となります。

- 使用水圧範囲は49～735 kPa、{0.5～7.5 kgf/cm²} です。
- 本体内の残水が凍結している場合は、暖かい部屋に放置し、とかしてから設置する。
- 必ず同梱の分岐水栓をご使用ください。

この商品は水道水を使って検査をしています。
商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますが、異常ではありません。

■給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは350 mmです。
フレキシブルパイプは切断しないでください。
右図の**A寸法**が、約150～380 mmの場合は、取り付けできます。
但し、上記以外の場合は、下記②③の**部材購入**が必要です。

①A寸法が約150～380 mmの場合の設置例

②給水管が短い場合
または外れない場合
A寸法が約150 mm以下ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。この場合、9ページを参照してください。

③A寸法が約150～380 mm以外の場合
別売品またはホームセンターなどで市販品を購入してください。

	フレキシブルパイプの長さ	品番	本体希望小売価格
別売品	250 mm	☆AD-HS25B	630円(税抜600円)
	300 mm	☆AD-HS30B	704円(税抜670円)
	400 mm	☆AD-HS40B	809円(税抜770円)
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。	

☆は、システム部材開発センター扱い（別売品）です。
価格は2009年4月現在の希望小売価格です。
価格・品番は変更される場合があります。

■リモコン、人体センサー取付位置の確認

リモコン、人体センサーを取り付ける位置は、15～17ページを参照してください。

準備

各部の名前と同梱部品の確認

設置方法によっては、パッキンやキャップなど、使用しない部品があります。

①分岐水栓セット

分岐水栓

パッキン3個

スリップワッシャー1個（白）

（11ページの「既設の給水管を使用する場合」のみ使用）

パッキン厚さ
4 mm×1（黒） 2 mm×1（青） 2.5 mm×1（黒）

② フレキシブルパイプ（給水管）（長さ:350 mm）

ロータンク

便ふた

着座スイッチ

本体

暖房便座

分岐水栓

止水栓

受信部

漏電テストスイッチ

電源ランプ

アース線（本体背面）

電源プラグ

③キャップセット

パッキン（小）

キャップカバー

キャップA

パッキン（大）

キャップB

パッキン厚さ
2.5 mm 大 / 2.5 mm 小

④ 給水ホース（長さ:950 mm）

⑤ 取付ボルトセット

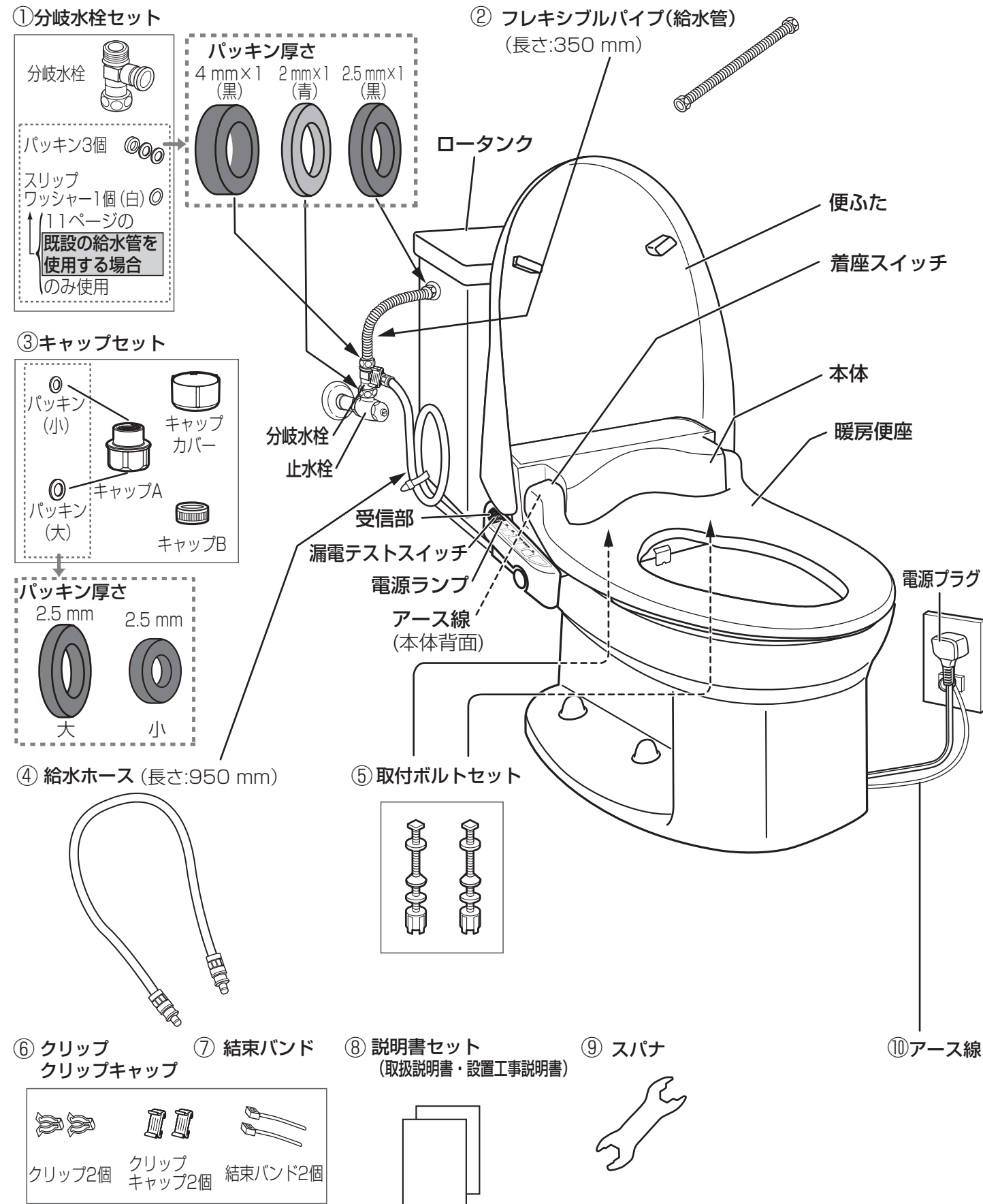
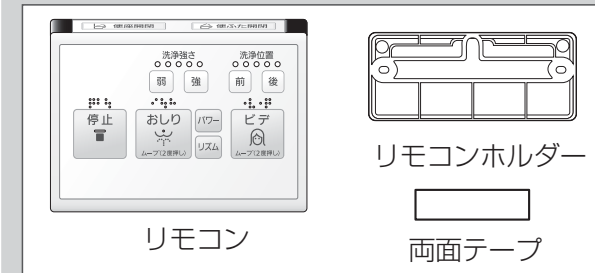
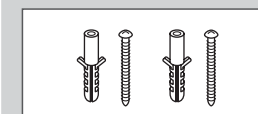
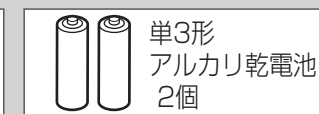
⑩アース線

⑥ クリップ クリップキャップ

⑦ 結束バンド

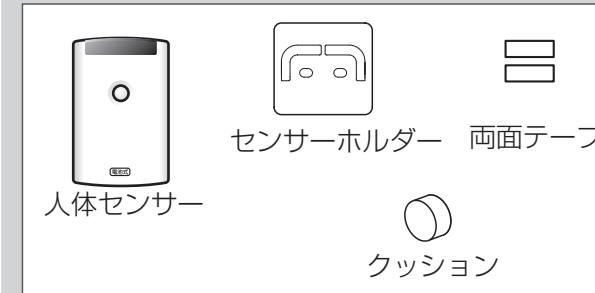
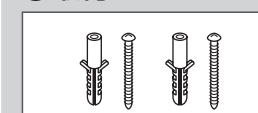
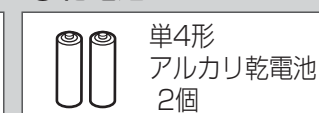
クリップ2個 クリップキャップ2個 結束バンド2個

⑧ 説明書セット（取扱説明書・設置工事説明書）

⑨ スパナ

〈リモコン用〉

〈人体センサー用〉（DL-MA40のみ）

⑮取付ねじセット

⑯乾電池セット

単4形
アルカリ乾電池
2個

⑫⑮の取付ねじセットは共用です

ご注意

- 同梱のパッキンをご使用ください。
（他のパッキンをご使用されますと接続部が破損するおそれがあります）

番号	部品名	部品品番 ※	数量
①	分岐水栓セット（分岐水栓 / パッキン 薄い黒2.5 mm厚さ×1 / パッキン 青2 mm厚さ×1 / パッキン 厚い黒4 mm厚さ×1 / スリップワッシャー（白）×1）	DL531A-PFC00	1
②	フレキシブルパイプ（給水管）	DL591A-X7JB0	1
③	キャップセット（キャップカバー / キャップA / キャップB / パッキン 大黒2.5 mm厚さ×1 / パッキン 小黒2.5 mm厚さ×1）	DL542A-Z6JS0	1
④	給水ホース	DL432A-Z6JS2	1
⑤	取付ボルトセット	DL552A-X1JS0	1
⑥	クリップ・クリップキャップ	DL792A-Z1JS0	各2
⑦	結束バンド	TSL-150-I	2
⑧	説明書セット　取扱説明書	DL-MA20/MA30用 DL940A-PFCP1 DL-MA40用 DL940A-PHCP1	1
	設置工事説明書	DL949A-PFCP1	
⑨	スパナ	DL972A-X7JB1	1
⑩	アース線（本体接続済み）	DL193A-X3KB2	1

〈リモコン用〉

番号	部品名	部品品番 ※	数量
⑪	リモコンセット（リモコン / リモコンホルダー / 両面テープ）	DL-MA20用 DL0DCP-PFC00 DL-MA30用 DL0DCP-PGC00 DL-MA40用 DL0DCP-PHC00	1
⑫	取付ねじセット	DL800A-Z1JS0	1
⑬	乾電池セット	－（単3形アルカリ乾電池）	1

〈人体センサー用〉（DL-MA40のみ）

番号	部品名	部品品番 ※	数量
⑭	人体センサーセット（人体センサー / センサーホルダー / 両面テープ）	DL137W-PHCS0	1
	クッション	ADL786AM7JB0	
⑮	取付ねじセット	DL800A-Z1JS0	1
⑯	乾電池セット	－（単4形アルカリ乾電池）	1

※部品品番は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

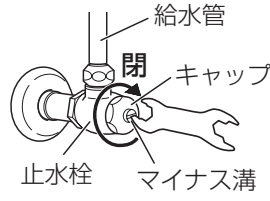
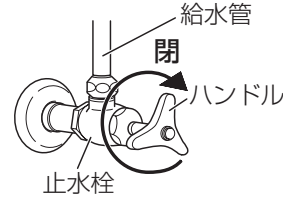
準備

設置工事の流れ

止水栓を閉める
8ページ
止水栓がある場合
8ページ
止水栓がない場合
フラッシュバルブの場合
専門業者に依頼する
閉
水道元栓
分岐水栓を取り付ける
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合
9ページ
(給水管が短い場合)
9ページ
既設の温水洗浄便座から取り替える場合
(既設の分岐水栓が右図タイプ)
10ページ
●タイプによっては
専門業者に依頼する
(既設の分岐水栓が右図タイプ)
11ページ
本体を取り付ける
12ページ
下からナット締めができる便器の場合
12ページ
下からナット締めができない便器の場合
13ページ
給水ホースを取り付ける
14ページ
アース線の接続/止水栓を開ける/クッションを取り付ける
15ページ
リモコンを取り付け、電源を入れる
16ページ
人体センサーを取り付ける
18ページ
試運転
裏表紙
施工完了チェックシートで確認する
設置

止水栓を閉める

■止水栓がある場合

●マイナス溝タイプ　●ハンドルタイプ

止水栓を閉めた後、ロータンクの水を流し切ってください。

9～11ページ　分岐水栓を取り付ける

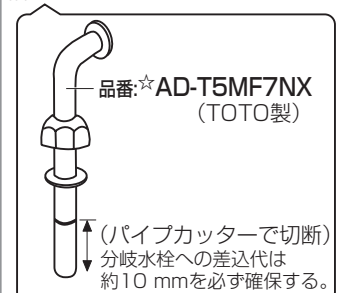
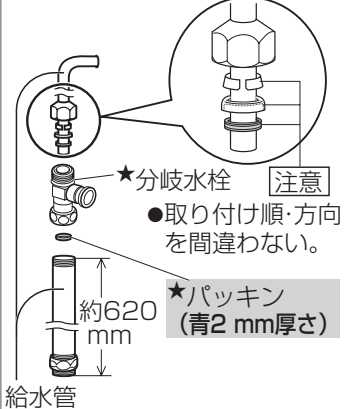
■止水栓がない場合 → 設置については専門業者に依頼してください

分岐水栓を取り付ける

〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照

★は、同梱部品です。
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。

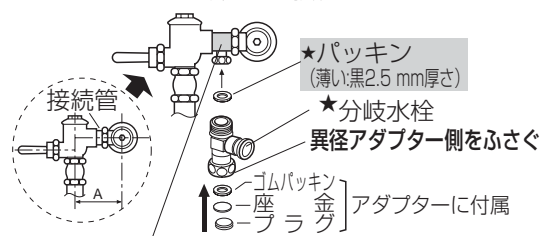
寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

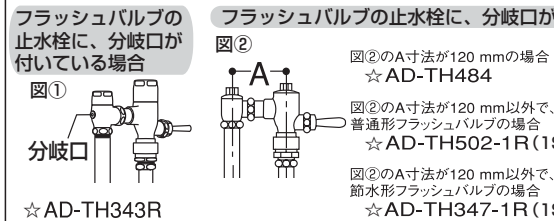
1. 水道の元栓を閉める
2. 給水管に分岐水栓を取り付ける

フラッシュバルブから本体へ給水する場合

TOTO製の場合

1. 水道の元栓を閉める
2. 分岐水栓を取り付ける

- ●右図のような取付口がある場合、アダプターは不要です。
- ●分岐口有りの場合は、別売品のアダプターを取り付ける。
- ●分岐口無しの場合は、接続管を取り付ける。

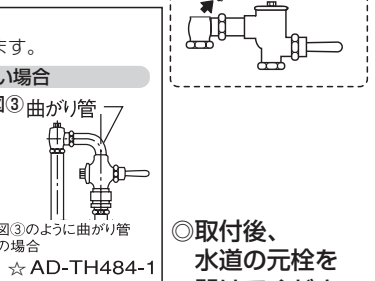
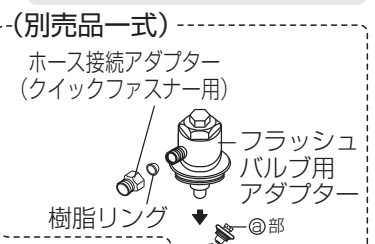
1. フラッシュバルブ本体から接続管を外す。
2. フラッシュバルブ用アダプター(別売品)を取り付ける。
3. 分岐水栓の異径アダプター側をふさぐ。
4. アダプターに分岐水栓を接続する。

〈別売品：フラッシュバルブ用アダプター〉
フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプターが異なります。

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合	フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合		
図① 分岐口 ☆AD-TH343R	図②の A寸法が120 mmの場合 ☆AD-TH484 図②の A寸法が120 mm以外で、普通形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH502-1R(1S) 図②の A寸法が120 mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH347-1R(1S)	図③ 曲がり管	図③のように曲がり管の場合 ☆AD-TH484-1

INAX製の場合

1. 水道の元栓を閉める
2. ⓐ部を外す
3. フラッシュバルブ用アダプターを取り付ける

65年～78年7月までの一般用
☆AD-K014GWS（INAX製）
78年8月～90年5月までの一般用
☆AD-K012GWS（INAX製）
90年6月以降の新型節水用
☆AD-K011GWS（INAX製）

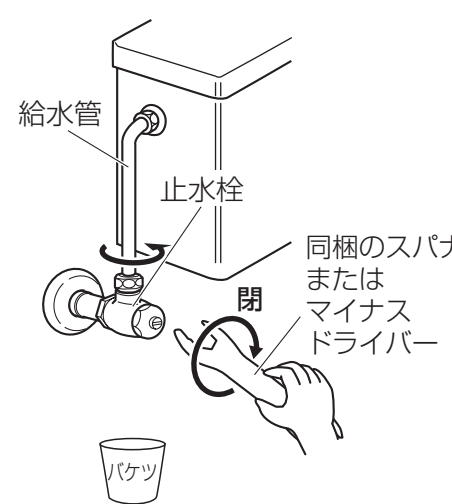
(別売品一式)

◎取付後、水道の元栓を開けてください。

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

12ページ　本体を取り付ける

分岐水栓を取り付ける　初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

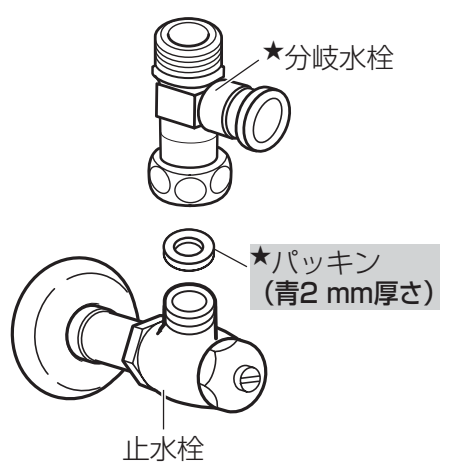
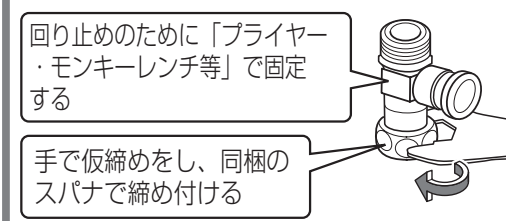
★は、同梱部品です。

1. **止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す**

- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

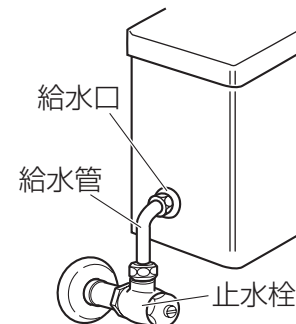
2. **分岐水栓を止水栓に、取り付ける**

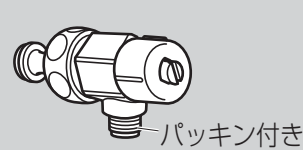
〈分岐水栓の締め付け方〉

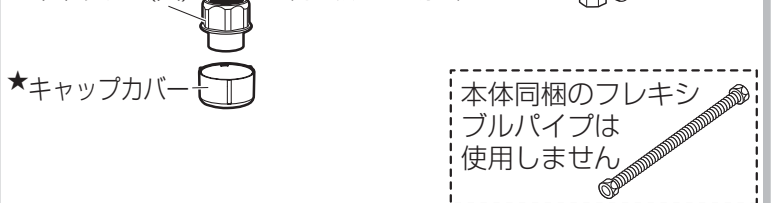
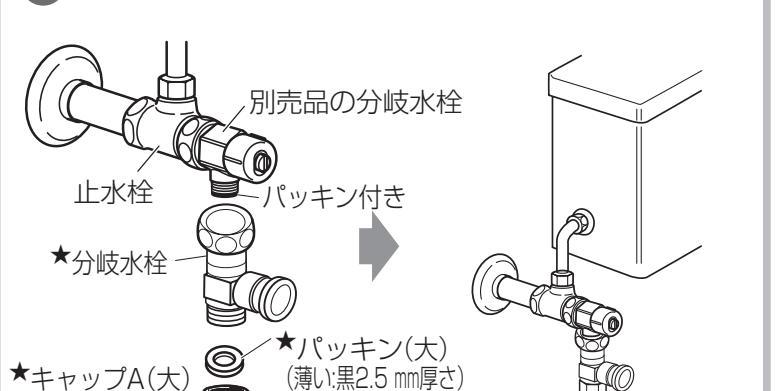
回り止めのために「プライヤー・モンキーレンチ等」で固定する

手で仮締めをし、同梱のスパナで締め付ける

11ページ　分岐水栓を取り付ける　2 給水管の取り付け

給水管が短い場合、給水管が外れない場合

下記の別売品を販売店で購入してください。

ロータンクの給水口と止水栓の間の距離が短く本体同梱の分岐水栓とフレキシブルパイプが接続できない場合は、別売の分岐水栓を下記に従って接続してください。

〈別売品〉品番：DL531A-X1JS0

パッキン付き
分岐水栓　1個　　説明書　1枚

1. **水道の元栓を閉める**
2. **別売品の分岐水栓を取り付ける**
3. **本体同梱の分岐水栓を取り付ける**

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

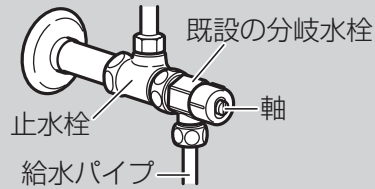
12ページ　本体を取り付ける

設置

分岐水栓を取り付ける

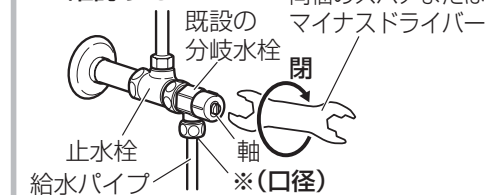
既設の温水洗浄便座　から取り替える場合

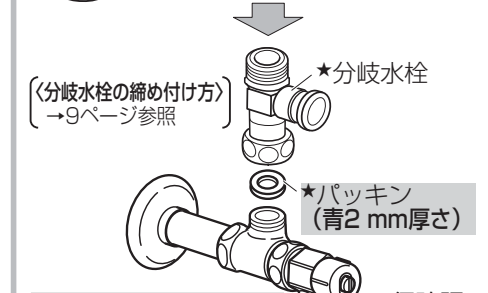
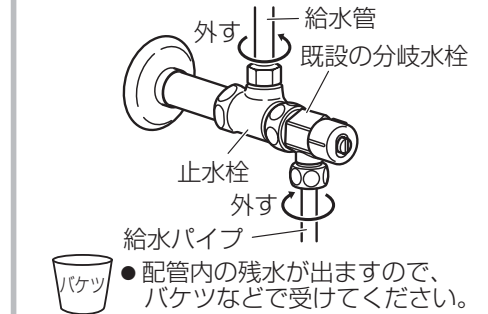
★は、同梱部品です。

既設の分岐水栓が右図のタイプ Ⓐ

既設の止水栓を元に戻す場合 →　内の部品が必要です。専門業者に依頼してください。

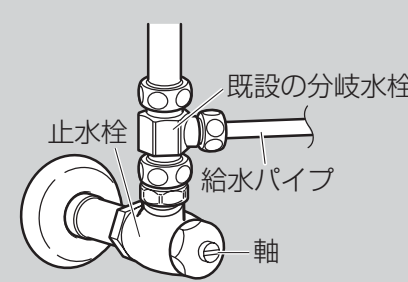
既設の分岐水栓を外さずに取り付ける場合

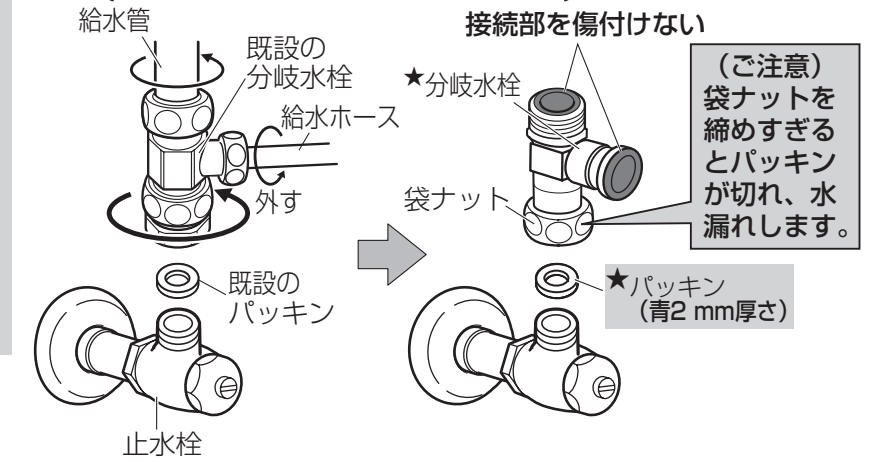
下図❶の※（口径）に、同梱のキャップセットが合う場合は、下記の手順で取り付けできます。

❶ 止水栓が閉まっていることを確認する

❷ 給水管と給水パイプを外し、同梱の分岐水栓を取り付ける

●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

●口径に合わせてA,B2種類のキャップ、大小2種類のパッキンから合うものを選んでください。ただし、既設の分岐水栓にパッキンが付いている場合は、同梱のパッキンは使用せず、そのままキャップを取り付けてください。

11ページ　分岐水栓を取り付ける　❷ 給水管の取り付け

既設の分岐水栓が下図のタイプⒷ

❶ 給水管を外してから、同梱の分岐水栓に交換する

〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照

●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

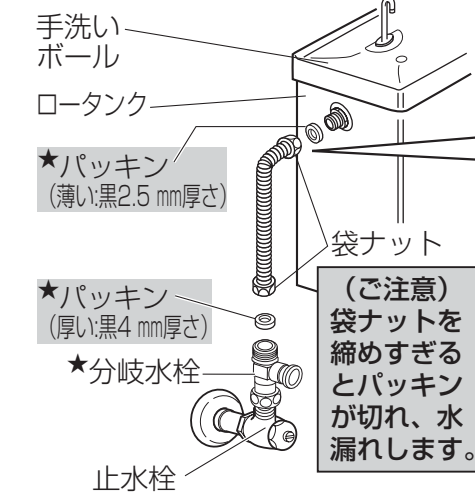
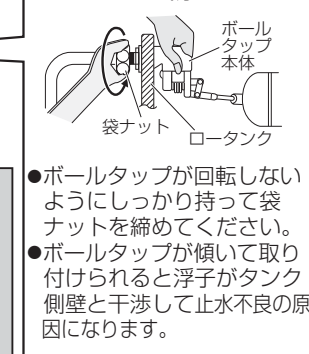
❷ 給水管の取り付け

同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。

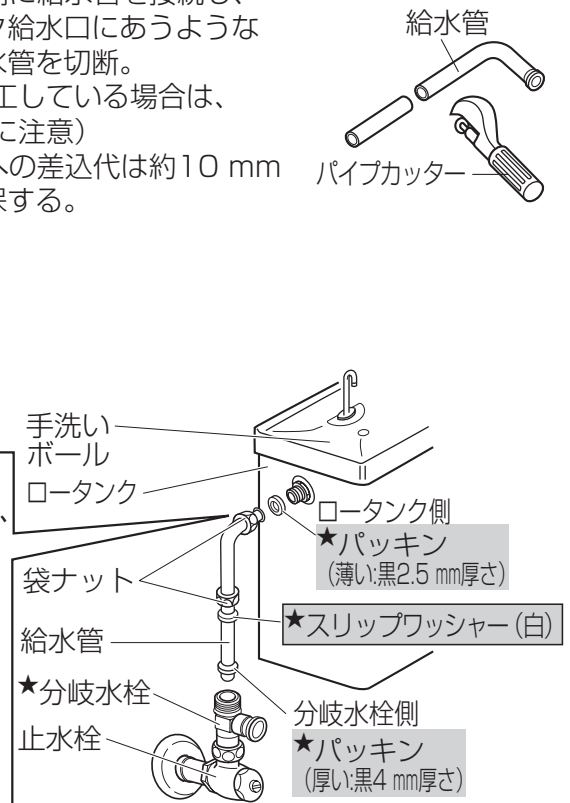
口径：G1/2

お願い

フレキシブルパイプは
- ●曲げ過ぎない
- ●何度も曲げ直さない（折れることがあります）
- ●曲げるときは袋ナットを両端に寄せてからL型に曲げる（袋ナットが移動できなくなります）
- ●切断しない
- ●長さが合わないときは、別売品または、ホームセンターなどで市販品を購入してください。

既設の給水管を使用する場合

- ●分岐水栓側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。（フレア加工している場合は、切断長さに注意）
- ●分岐水栓への差込代は約10 mmを必ず確保する。

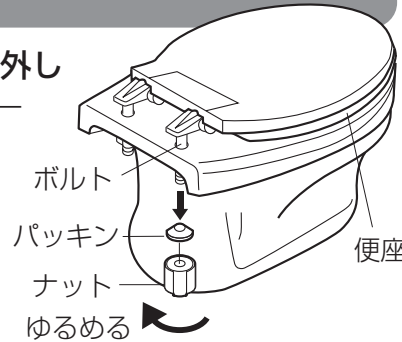
12ページ　本体を取り付ける

設置

本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

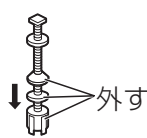
❶ 既設便座の取り外し

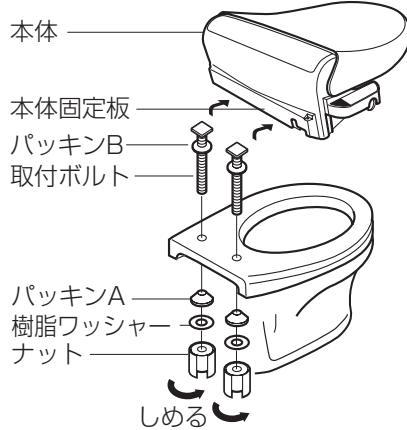
1. ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2. ナットとパッキンを外し便座を取り外す。

ボルト
パッキン
ナット
ゆるめる
便座

（ナットがさびてゆるまないときは）
- 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
- 取れないときは、金のこでボルトを切断する。

❷ 本体の取り付け（同梱の取り付けボルトセット使用）

1. 取付ボルトからナット・樹脂ワッシャー・パッキンAを外す。
2. 取付ボルトを本体裏面にある本体固定板の溝に差し込む。
3. パッキンBを上に動かして、本体固定板と取付ボルトを仮固定する。
4. 本体を便器に取り付け、取付ボルトにパッキンA・樹脂ワッシャーの順で取り付けた後、ナットを手でしっかり締め付ける。

外す

（ご注意）工具でナットを締め付けないでください。

本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。

取付ボルトが長すぎるときは
- 金のこなどで適当な長さに切断する。

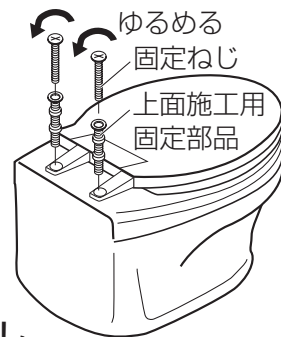
■便ふたの後部がロータンクにすれるまたは強く当たる場合
⇒すれない程度に少し前に引き出して取り付ける。

■便器によって便座が倒れやすい場合
⇒倒れない程度に少し前に引き出して取り付ける。

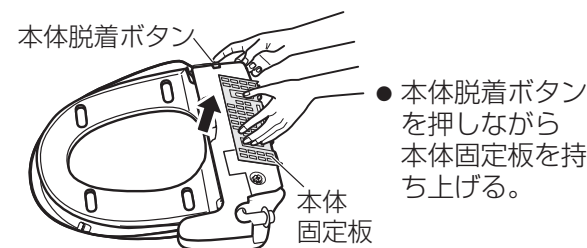
本体裏面のノズル収納部が便器に乗り上げないように注意する。

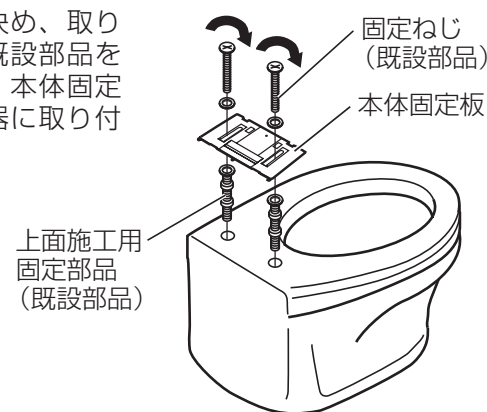
下からナット締めができない便器の場合

❶ 既設便座の取り外し

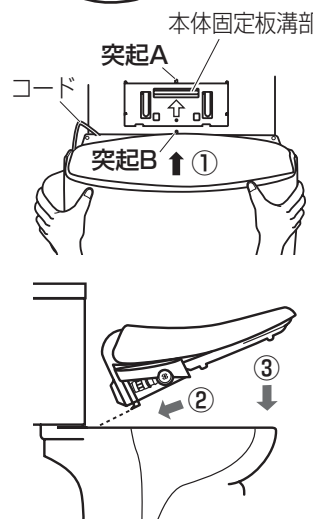
固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。
- 取り外した部品は、取り付け時に使用します。

❷ 本体固定板の取り外し

本体裏面より本体固定板を取り外す。

- 本体脱着ボタンを押しながら本体固定板を持ち上げる。

❸ 本体固定板の取り付け（既設の部品を使用）

位置を決め、取り外した既設部品を使用し、本体固定板を便器に取り付ける。

❹ 本体の取り付け

①右図のように突起Aに突起Bを合わせる。
②手前を浮かせた状態で斜めに差し込む。
③「カチッ」と音がするまで上から押す。
- コードを本体と便器の間にはさみ込まないようにしてください。
- 本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

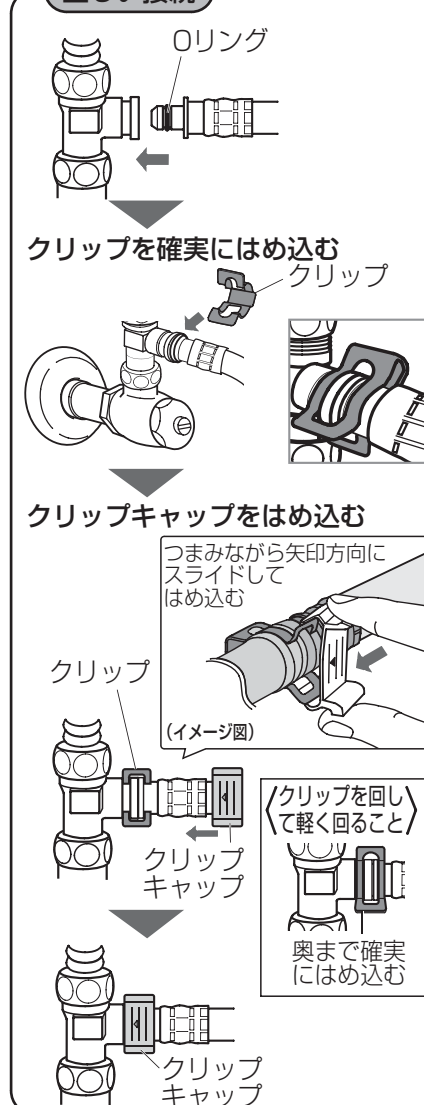
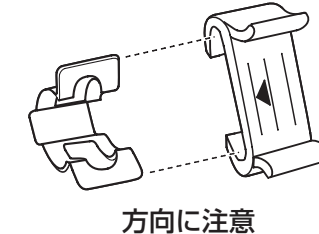
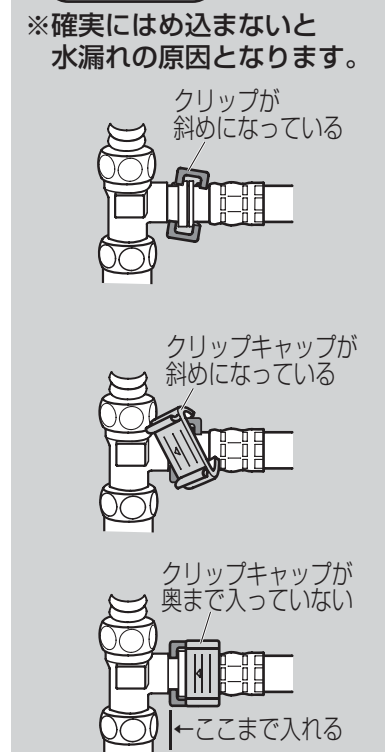
本体を便器に設置後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

給水ホースを取り付ける

❶ 分岐水栓への接続

1. 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、分岐水栓の接続口に**まっすぐ**差し込む。

（ご注意）給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

2. クリップを給水ホースと分岐水栓の接続部に奥まで差し込む。
3. クリップにクリップキャップを◀の方向に確実にはめ込む。

方向に注意

ご注意
- 給水ホースは切断しない
- 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
- 付属の結束バンド以外で結束しない
- 給水ホースは小さく曲げない（小さく曲げると折れて水の流れが悪くなるおそれがあります：最小曲げ半径 約10 cm）

❷ 本体への接続

1. 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。
2. クリップを給水ホースと本体接続部に奥まで差し込む。
3. クリップにクリップキャップを▶の方向に確実にはめ込む。

ご注意 ● 本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む

（ご注意）両先端にOリングが付いていることを確認すること

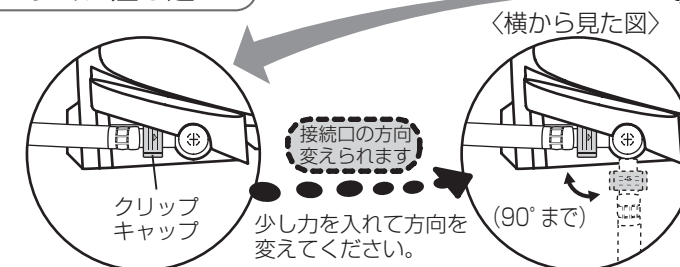
分岐水栓
止水栓
結束バンド
給水ホース
本体接続口

〈横から見た図〉

分岐水栓と同様に、クリップは確実にはめ込む

接続口の方向変えられます

少し力を入れて方向を変えてください。

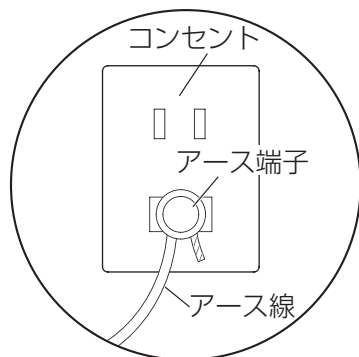
（90°まで）

❸ 確認

- クリップキャップが正しくはめ込まれているか確認してください。
- 給水ホースを引っ張って、分岐水栓や本体から抜けないことを確認してください。

取付

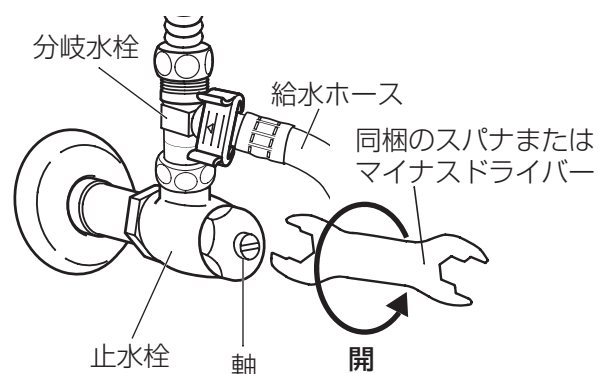
アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

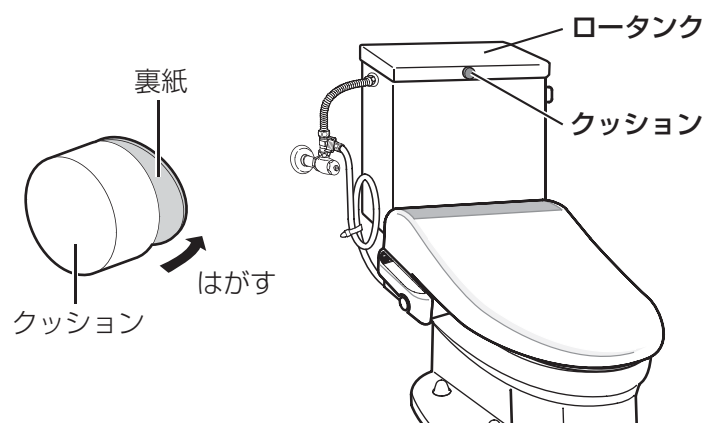
（アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください）

上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸を開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

クッションを取り付ける（DL-MA40のみ）

便ふたがロータンクに強く当たる場合は付属のクッションを右図を参考に貼り付けてください。

- 貼る前に、汚れ、水分などをふき取ってから貼り付けてください。

リモコンを取り付け、電源を入れる

- 本体の受信部側に取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。

❶ リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる

❷ 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

①電源プラグを差し込む
- 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する

②約10分以内に取り付けたい壁面にリモコンを手で合わせ、いずれかのスイッチを押す
（リモコンの上部の送信部を手などで覆わないでください）
- 本体の電源ランプが1回点滅
（リモコンからの送信を本体が受信していることを表示）

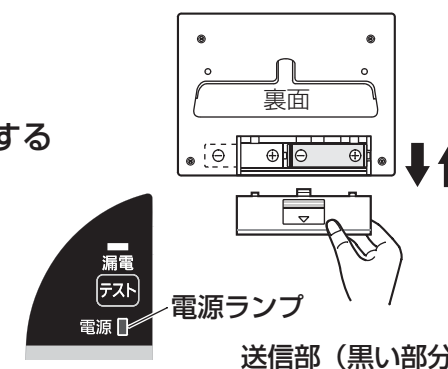
↓

送受信可能な位置です。

◆ 電源ランプが1回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

裏面

電源ランプ

送信部（黒い部分）

❸ リモコン（リモコンホルダー）を壁面に取り付ける

①リモコンからホルダーを下方向にずらして外す

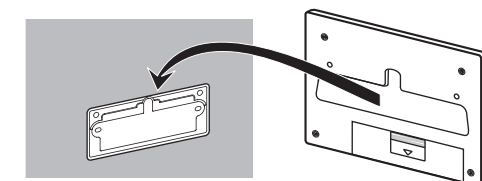
②ホルダーを壁面にねじで取り付ける

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材
● 各種合板 ● ビニールクロスなど	● タイル ● 石こうボード ● コンクリートなど
ねじ ●ねじ2本で壁面に取り付ける	樹脂プラグを差し込む 下穴をあける（直径 5.8 mm 深さ 35 mm） ねじ

ツルツルで固い平らな壁材（タイル）

- 壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。
- 表面がザラザラや凹凸がある面（クロスなど）に取り付けるとリモコンが落ちる場合があります。

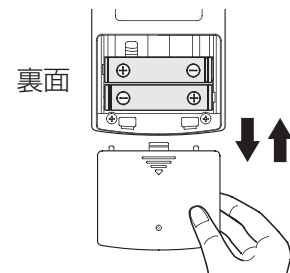
両面テープ（ホルダー裏面）

③リモコン裏面の溝を合わせて上から差し込む

④リモコンが取り外せることを確認する（電池交換が必要なため）

取付

人体センサーを取り付ける（DL-MA40のみ）

■トイレのパターンに合った位置に取り付ける（トイレの扉と便器の位置関係により異なります）
- 人体センサーは熱の変化を検知し、便ふたの開閉を自動で行います。

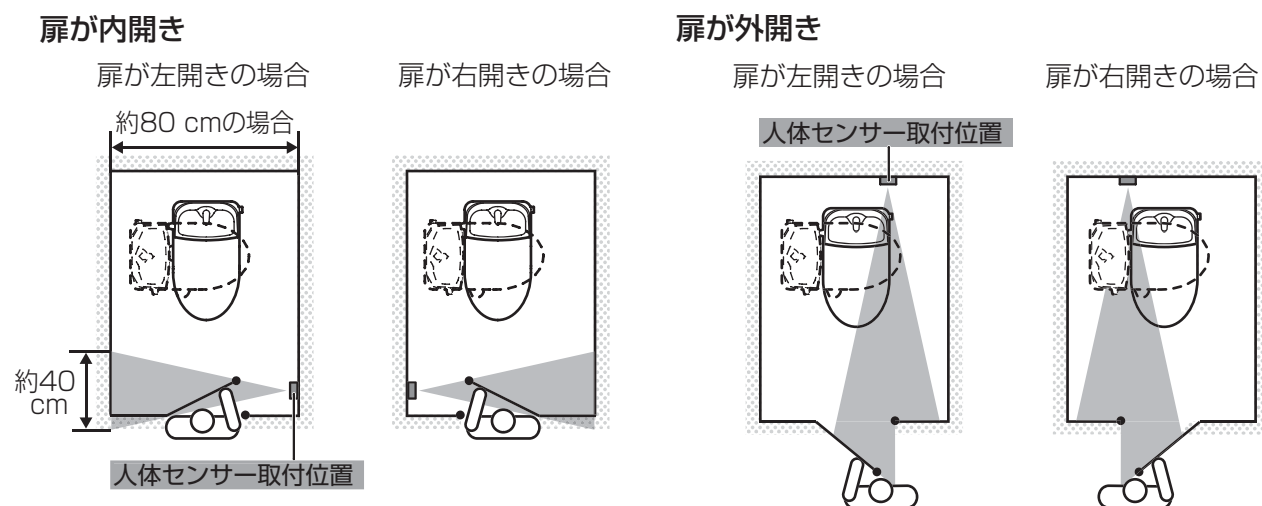
❶ 人体センサーの電池ふたを開け、乾電池を入れる

❷ 取付位置を選ぶ（下図参照）

〈トイレのパターン別、取付位置例〉
- 人体センサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、確実に人体を検知する位置に取り付けてください。
- 人体センサーと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。

扉が内開き

扉が左開きの場合　　扉が右開きの場合

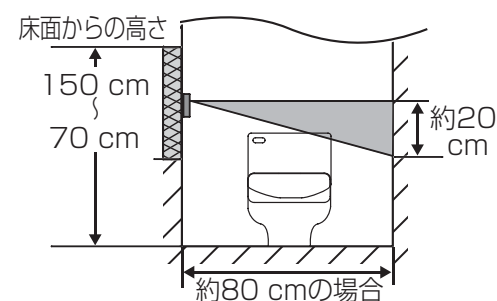
扉が外開き

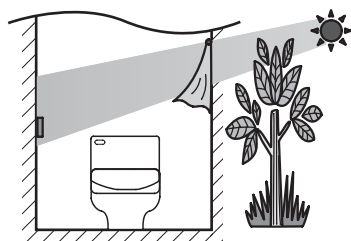
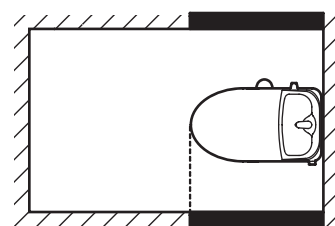
扉が左開きの場合　　扉が右開きの場合

■扉が引き戸の場合も、扉が外開きと同じ位置に取り付けてください。

〈取り付け高さ〉（どのパターンでも共通です）

取り付けるのに適した範囲です。

人体センサーの検知範囲の目安です。

- ご使用になる方の身長に合わせて、取り付け高さを決めてください。

ご注意　次のような場所に取り付けるのは避けてください。

- 直射日光のあたるところ
（カーテンや窓の外の木々の揺れで、直射日光がさえぎられるとき、誤作動しやすくなります）

- 暖房便座による熱の影響を受けやすいところ
（右図の ▬▬ 部分）

❸ 人体センサーと本体の送受信確認をする（位置決め）

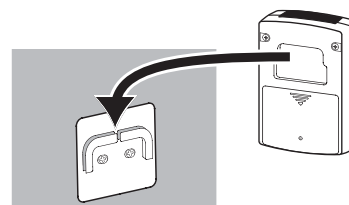
①本体操作部の自動開閉スイッチが「入」になっていることを確認する。
②便ふたを閉じ、一旦トイレから外に出る。
③1分以上経過後、左記の人体センサーの検知範囲に入り、便ふたが開くことを確認する。

❹ 人体センサーホルダーを壁面に取り付ける

①人体センサーからホルダーを外す
②ホルダーを壁面にねじで取り付ける

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材
●各種合板 ●ビニールクロスなど	●タイル ●石こうボード ●コンクリートなど
ねじ ●ねじ2本で壁面に取り付ける	樹脂プラグを差し込む 下穴をあける（直径 5.8 mm 深さ 35 mm） ねじ

ツルツルで固い平らな壁材（タイル）
●壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 ●表面がザラザラや凹凸がある面（クロスなど）に取り付けると人体センサーが落ちる場合があります。

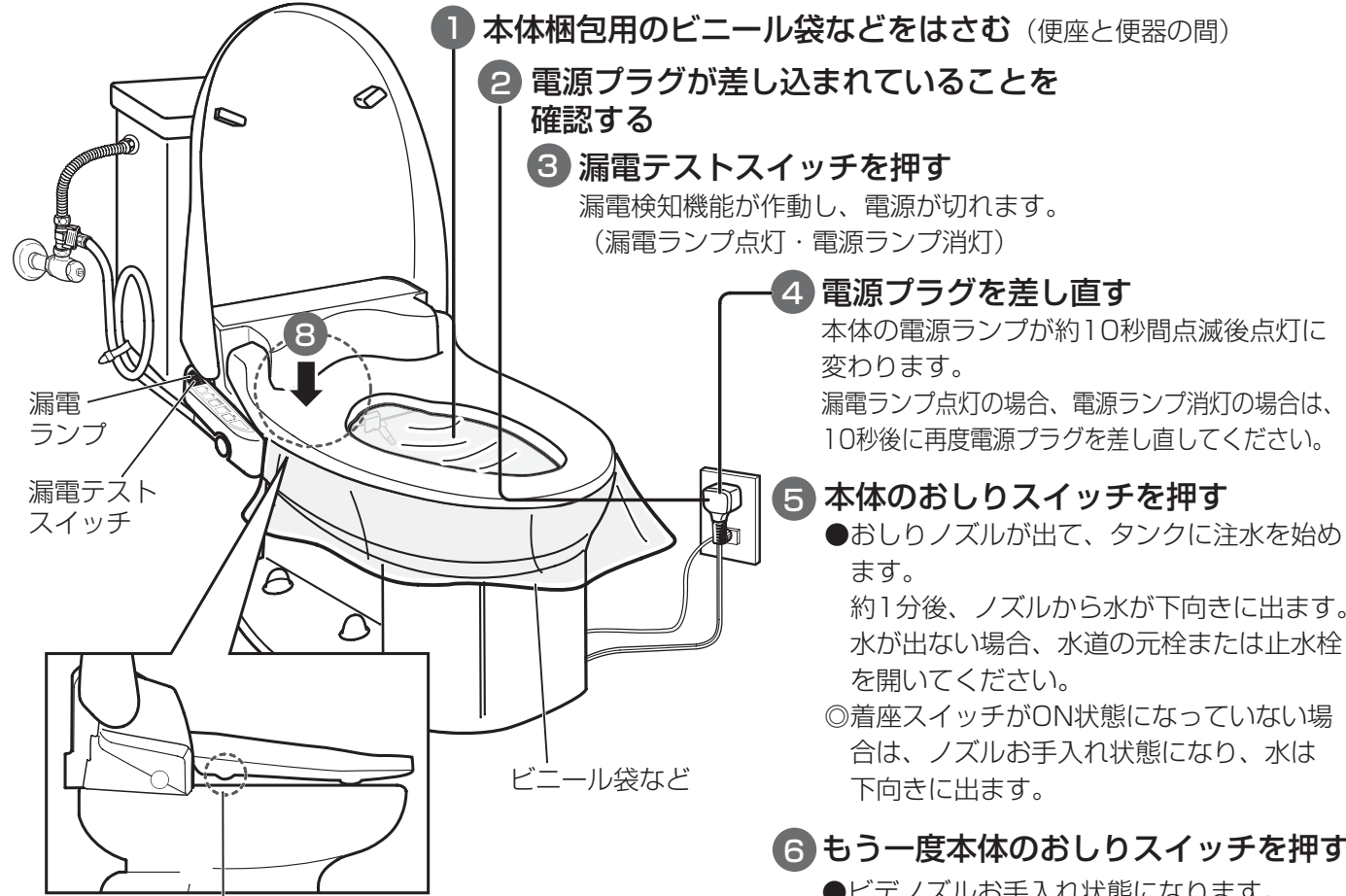
③人体センサー裏面の溝を合わせて上から差し込む

④人体センサーが取り外せることを確認する（電池交換が必要なため）

取付

試運転

試運転の前に… 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認してください。
（十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります）
給水接続部から水漏れがないかを確認してください。

手　順

便座の後ろ脚の両方が浮いている状態が正常です。この浮き（隙間）がないと着座スイッチが「入」になりません。また、便器によっては前脚の片側も浮いている場合がありますが、着座すると接触するため異常ではありません。

1. **本体梱包用のビニール袋などをはさむ**（便座と便器の間）
2. **電源プラグが差し込まれていることを確認する**
3. **漏電テストスイッチを押す**
   漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
   （漏電ランプ点灯・電源ランプ消灯）
4. **電源プラグを差し直す**
   本体の電源ランプが約10秒間点滅後点灯に変わります。
   漏電ランプ点灯の場合、電源ランプ消灯の場合は、10秒後に再度電源プラグを差し直してください。
5. **本体のおしりスイッチを押す**
   ●おしりノズルが出て、タンクに注水を始めます。
   約1分後、ノズルから水が下向きに出ます。
   水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。
   ◎着座スイッチがON状態になっていない場合は、ノズルお手入れ状態になり、水は下向きに出ます。
6. **もう一度本体のおしりスイッチを押す**
   ●ビデノズルお手入れ状態になります。
7. **もう一度本体のおしりスイッチを押す**
   ●ノズルが元に戻ります。
8. **便座の左後部を押し続け、着座スイッチ（本体内蔵）をON状態にする**
   ●脱臭が始まります。
9. **そのまま押しながら、リモコンの（おしり）または（ビデ）を押しビニール袋の上から手をあて温水が出ることを確認**
   ●着座スイッチがON状態になっていないと、洗浄水が上に出ません。
10. **取扱説明書に従って、おしり・ビデ洗浄など機能の確認をする**

温水タンクの空だき防止装置について

●試運転の手順3、4が終わった時点で、本体操作部の温水温度設定ランプの「高」と「低」が同時点滅している場合は、温水タンクの空だき防止装置の**作動**で**故障ではありません。**
〈この場合は…〉
・止水栓が開いていることを確認し、そのままで約4〜10分待って、再度手順4から試運転を行う。

洗浄停止中、ノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水が温まったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。（洗浄後、約7〜8分）

こんなときは

現象	考えられる原因	処置方法	参照ページ
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	10
	止水栓が開になっていない	止水栓を開にする	14
	水道水フィルターがつまっている	掃除する	取扱説明書
	ロータンクに水が給水中	水が貯まるのを待つ	−
ロータンクの水が入らない、止まらない	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す	11
手洗い管から水はねする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	14
接続部から水漏れする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着（Oリング）	Oリングのゴミを取り除く	13
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	−
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	11
	クリップのはめ込み不足やずれ（クリップを回して軽く回ること／奥まで確実にはめ込む）	確実にはめ込む（クリップ／クリップキャップ）	13
電源が入らない	テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（本体の漏電ランプが点灯）	電源プラグを差し直す	18
本体操作部の温水温度設定ランプの「高」と「低」が同時に点滅する	● 止水栓が開になっていない ● 止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ	止水栓が開いていることを確認し、そのままで約4〜10分待って、その後、再度試運転を行う	18
作動しない	着座スイッチが入っていない（便器に歪みがあります）	調節用パッキンで便器の歪みを調整する（品番：ADL502B-0150）	−
天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する		取扱説明書「保証とアフターサービス」の修理ご相談窓口にご連絡ください	

工事後の注意 凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）